# 八重洲店　半紙（A4縦）の貼り方　12/8（火）アルバイト作業用

天ぷらとワイン大塩　東京建物八重洲ビルB1　2026-11-20　単位mm　客席側・通路側から見た図　合計54枚（天ぷら20・一品8・旬8・追加枠18）

**① 半紙の裏には両面テープを前日までに貼っておく（四隅＋上下の真ん中）**
② 貼る前に、半紙をカテゴリー別（天ぷら・一品・旬）に分けて、値段順に並べる
**③ 天ぷら＝安い順（1番が一番安い）　一品・旬＝高い順（1番が一番高い）。同じ値段なら どれが先でもよい**
**④ 図の番号どおりに貼る。各段は「左から右」、上段→下段の順。横は隙間なし（紙の端を突き合わせる）**
⑤ 左右の位置：その面の真ん中にそろえる（幅を測って半分の所が、図の真ん中の線）
⑥ 旬の枠は中身が未定。届いた分だけ1番から詰め、余った枠は空けておく
⑦ 左右の側壁（4・5）は追加枠。何を貼るかはオーナーが決める（決まるまで空けておく）

### 枚数の出どころ（既存店の現行メニュー）

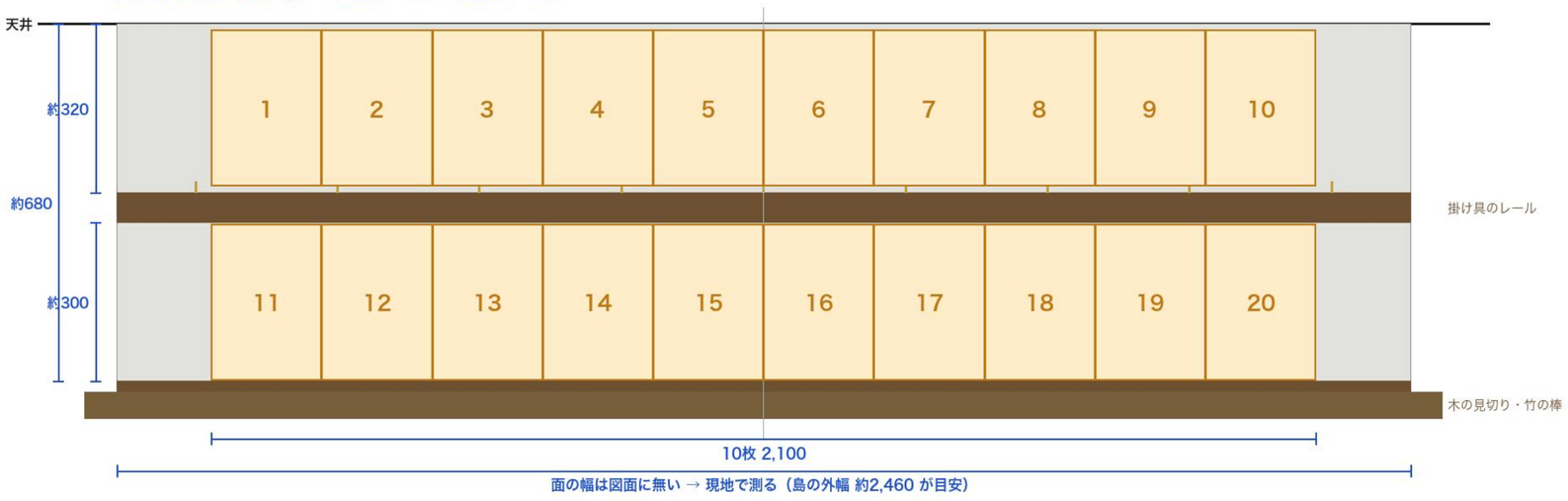
| | 有楽町 | 第三ビル | 八重洲 |
|---|---|---|---|
| 天ぷら | 19 | 23 | **20** |
| 一品 | 11 | 9 | **8** |
| 旬 | 6 | 3 | **8枠** |
| 追加枠 | | | **18** |
| 計 | | | **54** |

天ぷら＝海鮮・野菜・その他（旬の天ぷらは「旬」へ）　一品＝刺身・逸品。〆は貼らない

**買う物：半紙（A4）60枚（54＋書き損じ6）・両面テープ**
**当日の道具：脚立・メジャー・鉛筆**

## 1　島の上の垂れ壁（通路から見える面）

天ぷら 20枚（安い順）　上段1〜10・下段11〜20




**・上段＝天井とレールの間（約320）に、下段＝レールと見切りの間（約300）に貼る。紙の高さ297なので下段は余白がほぼ無い**
・高さ・レール位置は写真（メジャー）からの読み取り。当日まず実測し、下段が入らなければ紙の下を少し切るか、レールを外せるか業者に聞く
・面の幅が2,100より狭ければ、1段の枚数を減らして（例 9枚×2段＝18）残りは壁Aの空き枠へ。脚立が要る

## 2　壁A（テーブル11の後ろ）

一品 8枚（高い順）上段1〜4・下段5〜8




## 3　壁B（テーブル12の後ろ）

旬 8枚（高い順）上段1〜4・下段5〜8

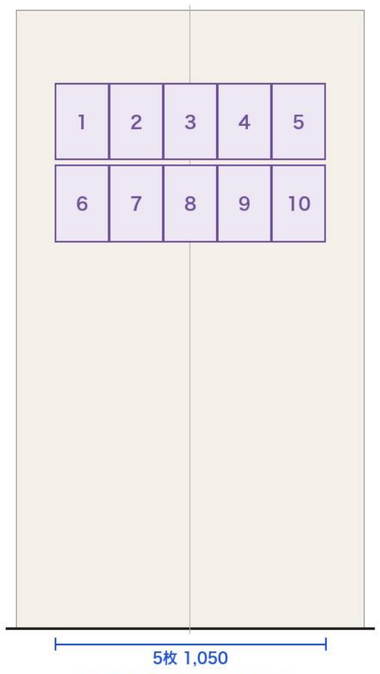



高さ：下段の下端＝床から1,500／上段の下端＝床から1,817（上下の間20）

## 4・5　左右の側壁（追加枠 18枚）　貼る高さは壁A・Bと同じ

### 4　左の側壁（テーブル1の横・通路側）

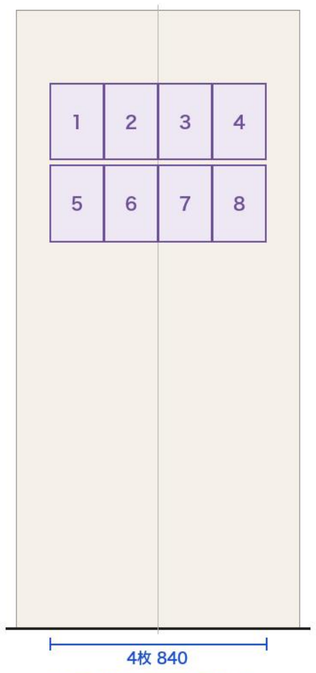
追加枠 10枚　上段1〜5・下段6〜10




前の店のおでんのポスターは外す前提

### 5　右の側壁（テーブル8の後ろ・木目の柱）

追加枠 8枚　上段1〜4・下段5〜8




前の店の貼り紙は外す

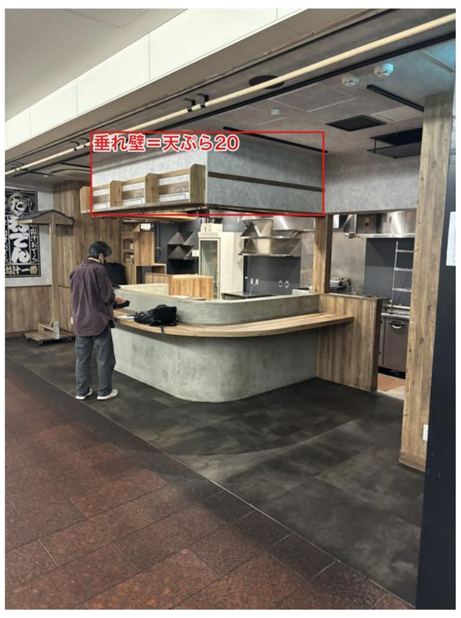
・幅は前の店の平面図（1/30）から読んだ値。
当日メジャーで測り、真ん中にそろえる

**・高さ：下段の下端＝床から1,500**
**上段の下端＝床から1,817（壁A・Bと同じ）**

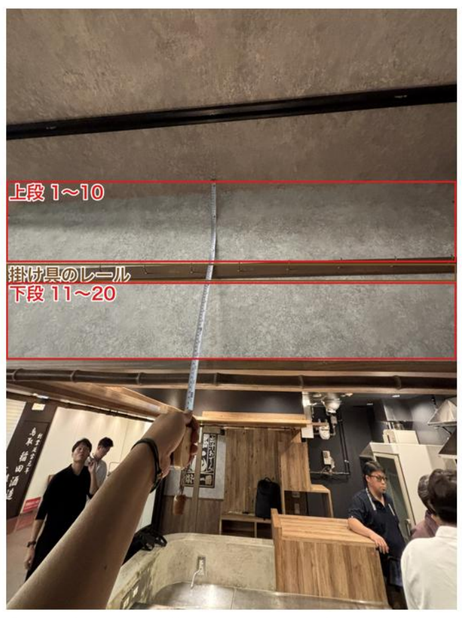
・左の側壁は下が木の腰壁、上が塗り壁。
半紙は塗り壁の部分に貼る

・右の側壁は木目パネル。テーブル8の
お客さんの頭より上に来る

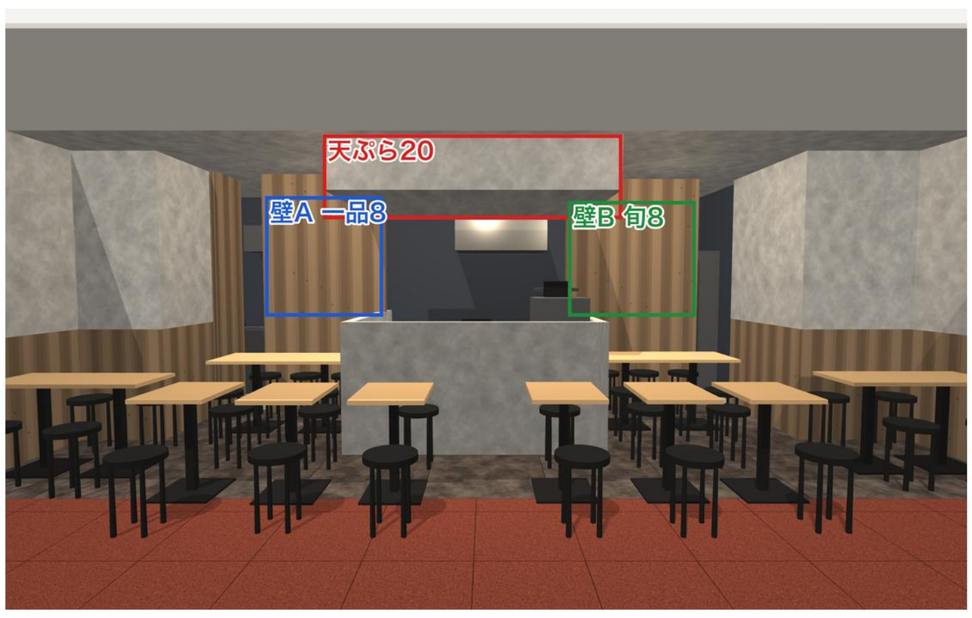
## 写真で見る場所




① 今の店（通路から）。島の上の垂れ壁に天ぷら20枚。左の木の飾り棚は工事で外す




② 垂れ壁の近く。天井〜見切り 約680（メジャー）




③ 工事後の立体図（図面の寸法どおり）。壁A・Bは新しく立てる壁




④ 左の側壁（通路から左奥）。腰壁の上の塗り壁に貼る




⑤ 右の側壁＝木目の柱の、貼り紙がある面（テーブル8の後ろ）